

被爆
63周年

世界平和の実現を!



2008年8月7日～9日、「2008連合平和行動in長崎」が長崎市で開催された。

8月7日(木)の「核兵器廃絶2008平和ナガサキ大会」(長崎県立総合体育館)には全国から4,200人が結集し、主催者3団体を代表し古賀信明・連合事務局長の挨拶、来賓挨拶(金子原二郎・長崎県知事、田上富久・長崎市長、クリスティン・ブロム I T U C キャンペーン局平和・軍縮担当)の後、築地昭平・被爆連元議長の「被爆者の訴え」、宮地稔・連合広島会長の「ピースメッセージ」、高校生平和大使の報告・決意表明があり、連合長崎組合員と家族が練習を積み重ねた構成詩「親子で綴る平和の願い Part VII」の発表、平和アピール(森優子・連合長崎女性

委員会委員長)、高石連合長崎会長から古賀連合事務局長へ「ピースフラッグリレー」が行われた。

8日(金)の午前には連合長崎青年・女性委員会による「ピースウォーク」が原爆落下中心地公園、平和公園であり、全国から618人が参加した。午後には原爆資料館ホールでシンポジウム「被爆者支援の取り組み 現状と課題」があり、414人が参加した。

9日(土)の「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」には連合代表(古賀事務局長・山口副事務局長)、連合長崎代表(高石会長)も出席し、献花を行った。午後7時からは松山町の陸上競技場に予定を上回る500人が集合し、原爆被爆者の慰霊と平和を祈念して浦上川に万灯を流した。



古賀信明 連合事務局長



クリスティン・プロム ITUC平和・軍縮担当



金子原二郎 長崎県知事



田上富久 長崎市長



築地昭平 被爆連元議長



宮地稔 連合広島会長



▲高校生1万人署名



高校生平和大使▶



構成詩



平和アピール



ピースフラッグリレー

青年・女性委員会が中心となって運営するピースウォーク。 今年の参加者は例年を大きく上回った



刑務所遺構



平和公園での写真展



平和シンポジウム



平和祈念式典



**「万灯流し」は「平和行動in長崎」に結集した全国の組合員・家族も
参加するなど、運動の輪が広がっている。**



平和行動 in 広島

8月4日(月)～6日(水)

2008年8月4日(月)～6日(水)の「平和行動in広島」には、高石会長以下11人が連合長崎から参加。4日には「平和ヒロシマ大会」、5日には「平和シン

ポジウムin広島」「ピースウォーク」、6日には連合長崎が1995年に寄贈した「長崎平和の鐘打鐘式」が広島市立大学構内で行われた。



高木剛 連合会長



平和コンサート(広島ジュニアマリンアンサンブル)



長崎から平和メッセージ



平和シンポジウム



連合長崎の参加者



「長崎の鐘」打鐘式

長崎から広島へ

各地で平和を訴える

2008年8月3日(日)、長崎市鉄橋で平和キャラバン隊の出発式が行われた。今年は日曜日と重なったため鉄橋で開催、キャラバン隊を代表して本多毅・連合長崎副事務局長が決意表明、広島に向け出発した。

キャラバン隊：本多毅（連合長崎）、鶴丸武史（基幹労連・青年委員会）、田中健次（基幹労連三菱重工労組）、村田元輝（自治労松浦市職）



8月9日を前に平和の泉を清掃

核禁会議が呼びかけ各界各層の協力で建設された平和公園内の「平和の泉」の清掃を、2008年7月26日(土)、55人の組合員・家族が参加して行った。

2時間を超える清掃でこの1年間に溜まった汚泥やぬめりをデッキブラシやタワシでゴシゴシ洗い、澄みきった泉のなかで平和を象徴する鶴の羽ばたきを想わせる噴水がよみがえった。



平和を願い万灯作成

2008年7月20日(土)、電力総連の協力で長崎電気ビルにおいて、今年も8月9日の万灯流しに使用される万灯作りを行った。連合長崎、青年・女性委員会で組合員・家族90名が参加し、1日がかかりで600個の万灯を作成した。



県知事・県議会に反対表明を求める要請を行う

2008年8月20日、連合長崎は県原水禁・県核禁会議とともに「米印原子力協定に伴う原子力供給国グループ(N S G)総会でのインドの例外扱いに反対表明を求める要請」を金子県知事、三好県議会議長に行った。

国際原子力機関(I A E A)が核不拡散条約(N P T)未加盟のインドとの査察協定を承認し、米印原子力協定発行に向けた次のステップとして核物質の

貿易管理指定を定めるN S Gでの例外措置を求めているからだ。例外措置を認めれば国際社会がN P T未加盟国の核保有を容認したことを意味し、パキスタン、北朝鮮、イランなどに核開発・核保有の口実を与えて、N P T体制の形骸化を招くことは必至だ。

これを受けて県知事は、福田総理宛に「慎重な対応」を求める「要望書」を8月22日政府に提出、県議会も9月定例議会で意見書採択予定となっている。